

履 歴 書

フリガナ 氏名	ゲイダイ ハナコ 芸 大 華 子 旧姓等 (^{ゲイダイ} 芸大 ^{ハナコ} ハナコ)	性別	男 ・ (女)	写真貼付欄
生年月日 (年齢)	和暦 昭和 54 年 8 月 15 日 西暦 1979 年 (満 46 歳) ※R8.41現在	電話番号	075-551-1311	
		携帯番号	090-1111-1111	
住所	〒451-0062 名古屋西区庄内通 1-3 メゾン芸大 303 号 E-Mail : ○○○@○○○.ac.jp			
本務	本務校名 (勤務先名) ○○○大学○○学部○○○○学科	職名	発令年月 S (H) R 18 年 3 月	学位 文学修士 授与年月日 S (H) R ○年○月○日
	本務校 (勤務先) 住所 北名古屋市	本務校 (勤務先) 電話	0568-	
学 歴				
年 月	事 項			
平成○○年 3月	○○○○高等学校 普通科卒業			
平成○○年 3月	○○○○大学 △△学部 □□学科卒業 □□学士取得			
平成○○年 3月	○○○○大学 大学院 △△研究科 ××専攻修士課程修了 ××修士取得			
平成○○年 3月	○○○○大学 大学院 △△研究科 ××専攻博士課程単位取得満期退学			
職 歴				
年 月	事 項			
平成○○年 4月 ～平成○年 3月	○○○○大学 △△学部 □□学科 講師 (担当科目 1、担当科目 2)			
平成 ○年 4月 ～現在に至る	○○○○大学 △△学部 □□学科 教授 (担当科目 1、担当科目 2)			
令和 ○年 4月 ～現在に至る	□□□□大学 ○○学部 △△学科 非常勤講師 (担当科目 1、担当科目 2)			
学会、社会における活動、職務上の業績等				
年 月	事 項			
平成○○年 4月 ～平成○年 ○月	△△△△学会会員			
平成 ○年 4月 ～現在に至る	北名古屋市民大学 講師			
令和 ○年 4月 ～現在に至る	○○市 社会福祉協議会ホームヘルパー養成講師			
令和 ○年 4月 ～現在に至る	××市 環境アセスメント委員会 委員			
免 許 ・ 資 格 等				
年 月	事 項			
平成○○年 4月	高等学校教諭 1 種免許状 (教科)			
平成○○年 9月	介護福祉士国家試験合格 (登録番号第*****号)			
平成○○年 9月	日本心理学会認定心理士 (資格番号第*****号)			
賞 罰 ・ 処 分 歴 等				
年 月	内 容			
	なし			
上記の通り相違ありません。				
令和 年 月 日 氏名 (印)				

【履歴書 記載上の注意】

1. 「氏名」欄は、本名で記載をし、旧姓等を使用する場合は（ ）を使用してください。
※なお、正式採用後学内で旧姓等を使用する場合は必ず総務チームで手続きが必要です。「旧姓等」とは戸籍上の氏名ではなく前の戸籍の氏名（旧姓）、ペンネーム、雅号、芸名等をいう。
2. 「生年月日(年齢)」欄の年齢には、**令和8年4月1日**現在の年齢を記載してください。
3. 「学歴」欄については、高等学校卒業からのすべての学歴について、正式な学校名称等を記載するとともに、卒業等の事項内容がわかるようにすること。記入してください。大学若しくは高等専門学校又はこれらと同等以上と認められる学校卒業以上の学歴(大学の別科及び専攻科を含む。)を有する場合、それらの学歴を全て記載し、それらの学歴を有していない場合は、最終学歴を記載してください。(授与された学位については学位欄に記載してください。文学修士、修士(文学)等、学位の分野についても正確に記載してください。)
4. 「職歴」欄については、以下のとおりとします。
 - ①全ての職歴を記載するとともに、職名、地位、雇用形態(常勤・非常勤等)等についても明記してください。
 - ②各職歴については在職期間を明確にし、現職については「現在に至る」と記載してください。
 - ③研究者としての外国の大学や研究機関等への留学歴についても記載してください。大学等における職歴については、担当科目を記載してください。
5. 「学会、社会における活動、職務上の業績等」欄については、以下のとおり記載してください。
 - ①現在所属している学会の名称を記載してください。
 - ②専攻、研究分野等に関連した事項について記載してください。
 - ③教育研究上の業績を有する場合は、その内容を具体的に記載してください。
6. 「免許・資格等」欄については、専攻、研究分野等に関連した資格等を記載してください。
7. 「賞罰・処分歴等」欄には、公的、出版社等からの表彰または職務上の表彰や懲戒処分(研究費の不正受給に係る処分等)を記載してください。また、過去に学生に対するセクシャルハラスメントを含む性暴力を原因として懲戒処分若しくは分限処分を受けた場合には、処分の内容及びその具体的な事由を必ず記入してください。なお、該当する事項がない場合は、時期欄は無記入にし、内容欄に「なし」と記載してください。
8. 本調書の年月日は、記入日としてください。
9. 「本人氏名」欄の印は、本人の自筆署名の上、捺印をお願いします。
10. 写真貼付欄に写真の貼りつけをお願いいたします。

(その2)

記入日を記載してください

教育研究業績書

令和〇年4月1日

氏名 印

教育上の能力に関する事項	年 月 日	概 要
1 教育方法の実践例		<ul style="list-style-type: none"> 優れた教育方法の実践例（英語による授業、少人数教育、小テスト・レポートによる持続的教育、問題発見・課題解決型授業の実施 等） マルチメディア機器を利用した授業方法（コンピュータ、スライド等の視聴覚教材を活用し、理解を深める等の取組み 等） 学生の授業外における学習促進のための取組み（授業に関するアンケートの利用、講義・実習評価結果の利用、シラバス等の作成 等）
2 作成した教科書・教材		<ul style="list-style-type: none"> 教員が、学生の理解を図るために作成し、また、授業や教職指導などにおいて活用している教科書や教材を記載してください。なお、本欄に記載した事項が、「研究業績等に関する事項」において重複して記載される場合は、同一の内容を当該箇所においても記載してください。
3 当該教員の教育上の能力に関する大学の評価		<ul style="list-style-type: none"> 教員が、学生の理解を図るために行っている教育上の取組み（授業や教職指導などを通じた取組み）に対する大学からの評価（以下の例）を参照）を記載してください。 <p>(例)</p> <ul style="list-style-type: none"> 採用決定の際などにおける評価内容 各大学における自己点検・自己評価での評価結果 教員相互による評価結果 学生による授業評価結果など
4 その他		<ul style="list-style-type: none"> 教員が、学生の理解を図るために行っている取組みのうち、上記「1 教育方法の実践例」～「3 教育上の能力に関する大学等の評価」に該当しないもの（以下の例）を参照）を記載してください。 <p>(例)</p> <ul style="list-style-type: none"> 大学教育改善に関する団体等での活動の概要 教育実績に関する表彰など
職務上の実績に関する事項	年 月 日	概 要
1 2 ・ ・		下欄『別記（記載例）』を参照の上ご記入ください。

- 「教育上の能力に関する事項」の「4 その他」欄には、1から3に該当するもの以外の事項について幅広く記入してください。
- 「職務上の実績に関する事項」は下欄『別記（記載例）』を参照の上ご記入ください。
- 全体を通じて「年月日」「年月」欄は、「令和〇〇年 月」のように年号で記載してください。
- 「概要」欄は、事項ごとに、内容がわかるように200字程度（150字～250字）で記載してください。

『別記（記載例）』

- 企業、官公庁等の研究者の場合
 - ・開発した新製品・製法。作物等の新品種等の概要
 - ・取得した特許等の概要
 - ・大学との共同研究による実績がある場合、その概要、成果、当該研究者の役割
- その他企業・団体等関係者の場合
 - ・国際援助・開発、先端技術、国際金融等高度に専門的な実務に従事した実績
- 情報技術関係者の場合
 - ・コンピュータに係る職務歴（職務上のコンピュータ活用方法、ソフト・システム開発歴）
- マスコミ関係者の場合
 - ・執筆した記事の概要
 - ・制作した番組の内容
- 法曹関係者の場合
 - ・関係した訴訟等での活動や判決の概要
- 医師や看護師等医療技術者の場合
 - ・症例研究会での発表等の活動
- 福祉その他社会的活動の関係者の場合
 - ・参加した活動や団体の名称、活動内容・期間、本人の当該活動における地位
- その他全般を通じて
 - ・各種の資格取得、受賞等の経歴
 - ・大学から受け入れた実習生に対する指導歴（看護・福祉実習、企業実習等
 - ・企業内教育、大学公開講座、社会教育講座の講師としての講義等概要等

著書, 学術論文等の名称	単著, 共著の別	発行又は発表の年月	発行所, 発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
(著書) 1	単 著	昭和〇年〇月	〇〇〇〇 (総頁数) (200字程度で記入)
2	共 著	昭和〇年〇月	〇〇〇〇 (200字程度で記入) (共著者名全員の氏名 (本人も含む)) 本人分担: (執筆に当たったの具体的な作業、担当ページ)
著書 〇〇 編				
(学術論文) 1	共 著	昭和〇年〇月	発表誌名 第〇巻 (200字程度で記入) (共著者名全員の氏名 (本人も含む)) 本人分担: (執筆に当たったの具体的な作業、pp〇~〇)
2	単 著	平成〇年〇月	欧文誌名 Vol. 〇 (200字程度で記入) (pp〇~〇)
学術論文 〇〇 編				
(その他) 1	共 著	昭和〇年〇月	〇〇〇〇 (200字程度で記入) (共著者名全員の氏名 (本人も含む)) 本人分担: (執筆に当たったの具体的な作業、pp〇~〇)
2	単 著	平成〇年〇月	〇〇〇〇 (200字程度で記入)
その他 〇〇 編 合計 〇〇 編				

5. 「著書, 学術論文等」欄は、著書、学術論文等、その他について記載してください。なお、以下の点に留意してください。
- (1) 「著書、学術論文等の名称」欄は、省略することなく、正式な名称を記載してください。
 - (2) 「発行又は発表の年月」欄は、「平成〇〇年〇月」のように年号で記載してください。
 - (3) 「概要」欄は、事項ごとに、形式的な内容(簡単な小見出しなど)ではなく、具体的な内容がわかるように200字程度(150字~250字)で記載してください。
 - (4) 「共著」の場合には、本人の担当部分の概要及び掲載頁(pp. 〇〇~〇〇)を明記し、本人を含めた著者全員の氏名をもれなく記載(著者が非常に複数にのぼる場合には、主要な著者のみ(本人は含めること)記載しでもよい)してください。また、本人の氏名に下線をひくこと。
 - (5) 「(その他)」欄は、報告書や教育関係雑誌など、活字として発表された研究業績、学会等における研究発表、講演会、展示会等の実施・開催が確認できる業績を記載してください。
 - (6) 教育現場での教育実践を行ってきた者で、博士論文や研究機関等での研究論文がない場合であっても、実践経験に基づく研究成果を発表した業績等(いわゆる「研究集録」「研究レポート」「実践レポート」「教育論文」等)を記載してください。
6. 「本人氏名」欄の印は、本人の自筆署名の上、捺印をお願いします。